

金井中だより

令和4年10月18日

第6号

校長 仙北屋正樹

土曜日の 言い方	英語	Saturday (サターデー)	名前の言い方	Name (ネーム)
	スペイン語	Sabado (サバド)		Nombre (ノンブレ)

最高に楽しかった修学旅行(3年生)

9月19日から2泊3日で、3年生は待望の修学旅行に行ってきました。コロナの影響を一番受けた学年でしたから、「何とか修学旅行だけは」という気持ちが届いたようで、感染者も減少して実現することができました。台風の影響も心配されましたが、これも天が味方してくれました。3日間穏やかな天候の中で楽しむことができました。初日は法隆寺、世界最古の木造建築はさすがに素晴らしいものです。実物を見たのは、初めての生徒が多かったです。そして奈良公園へと移動しました。もちろん鹿さんがお出迎いです。恐がりながらも鹿せんべいをあげる姿は微笑ましい限りです。この日は奈良の「三笠」という旅館に宿泊です。夜は春日大社へ献灯する予定でしたが、天候の関係で中止となってしまいました。でも旅館からの夜景が心をいやしてくれました。2日目は班行動です。各班考えぬいた予定を楽しんで見学できたようでした。この日は京都での宿泊で、夜は能楽堂へ行き、能と狂言を鑑賞しました。大部分の生徒が初めて観劇だったようで、日本の伝統文化を知る良い機会となったようです。最終日は夕クシー行動で、京都市内を案内してもらいました。プロの方の説明はさすがに詳しく丁寧で、きつともう一度京都に来たいと思わせてくれたことと思います。帰りの新幹線が人身事故の影響で大幅に遅れ、町田駅での解散がなんと20時になってしまい、保護者の方にはご迷惑をおかけしました。でも、この経験も印象的な思い出として心に残っていくと思います。みなさん、お疲れ様でした。



2年生はあこがれのブリティッシュへ!

2年生は、あこがれのブリティッシュヒルズへ9月20日から2泊3日で行ってきました。出発日は台風の影響も心配されましたが、天気も味方してくれたようで雨もやみ、3日間を楽しく過ごすことができました。ブリティッシュヒルズの門をくぐる時、イギリスらしい趣に圧倒されたのか、思わずバス内から歓声があがりました。みなさん、本当に楽しみにしていたようです。すぐにホールで開校式、もちろん説明はすべて英語です。緊張気味に聴いている生徒の気持ちをよそに、入国審査が始まりました。先生から英語で必ず質問されます。それに答えられると入国できるのです。でも心配はいりませんでした。みんな、余裕で質問に答え、部屋の鍵をもらって移動していききました。その後授業がすぐ始まり、心配なもののぞきに行くと、なんと楽しそうに授業を受けていました。もちろん英語です。授業をよく聴いてみると、先生がうまく教えてくれるので、とまどう生徒がいないのです。心配はいらなかつたようです。食事は、まるで映画のハリポッターにでてる食堂のようです。食事はビュッフェです。自分が食べたいものを好きなだけ食べられます。朝食もありません。みんな満足していたようです。どれをとっても素晴らしいので、やはり建物の素晴らしさが一番だと思います。まるで映画の一場面に入ってしまったような気分になります。不思議と英語が話せるようになります。その中で2泊3日はすぐに過ぎてしまいました。帰りは仲良くなった先生たちと話したり、帰りたいという人がいたりとなんか残を惜しんでいました。きっとこの体験は一生の思い出になることと思います。



1年生は日本文化の体験へ！

2・3年生ばかり楽しい体験をするのはずるい！という
ことで、1年生は9月22日（木）に都内巡りへ出かけま
した。今回の大きな目的は、日本の伝統技術を体験するこ
とと、修学旅行の時に班行動がしっかりできる練習もかね
て、校外学習です。浅草を中心に、「屏風作り」「皮細工」
「手縫い物の作り」の3カ所から一つ選んで体験活動を行
いました。屏風作りは和紙を使ってオリジナルの屏風をか
きました。作る機会はないので、参加した人は興味深
かったようです。「皮細工」に挑戦した人は、ペンケース
を作りました。皮製品を見たことはありますが、皮を使って物を作る体験はしたことが
ない人ばかりです。苦勞して作ると、物を大事にする心が生まれますよ。そして3
つめは手縫いです。自分オリジナルのポーチの完成を目指して、みんな必死に手縫いに
挑戦していました。何でも機械でできてしまう現代では、逆に手縫いの物は貴重です。
また、温かみが感じられるのがいいですよ。自分で作ったものは、また格別な物にな
ると思います。作成した作品は大事にしてくださいね。その後は浅草を探索し、鶴川駅
へ戻ってきました。遅れてしまった班は、修学旅行では気をつけて下さいね。お願
いします。



物を作る体験はしたことが
ない人ばかりです。苦勞して作ると、物を大事にする心が生まれますよ。そして3
つめは手縫いです。自分オリジナルのポーチの完成を目指して、みんな必死に手縫いに
挑戦していました。何でも機械でできてしまう現代では、逆に手縫いの物は貴重です。
また、温かみが感じられるのがいいですよ。自分で作ったものは、また格別な物にな
ると思います。作成した作品は大事にしてくださいね。その後は浅草を探索し、鶴川駅
へ戻ってきました。遅れてしまった班は、修学旅行では気をつけて下さいね。お願
いします。

北京オリンピック出場の富高日向子さんの 報告会を開きました。

9月9日（金）に、本校の卒業生で北京オリンピック出場の富高日向子（とみたかひなこ）選手が来校し。オリンピックの話などを聞か
せてくれました。当日はコロナ感染防止のため、3年生だけに体育館で小さな頃から現在までのことを映像を交えて話してくれました。富高さんの行っている競技はデュアルモーグルというスキー競技です。最近知っている人が増えてきていますが、昔は知られていない競技でした。富高さんがこの競技を始めたきっかけは、ご両親が小さい頃からよくスキップに連れていかれたことがきっかけだったようです。そこでジャンプをしたりするところから始まり、この競技に入っ
ていってほしいです。その後、金井中に入る間、オリンピック強化選手に指定され、中学・高校と数々の優勝を経験し、オリンピック出場を目指すようになったそうです。ただ、北京オリンピックはケガなどもあり、出
場できないか心配だったそうですが、今までの経験が認められた出場が決まりました。結果に満足してはいかないと言っていました。次のイタリアミラノで行われるオリンピックを目指してがんばりたいとおっしゃっていました。ぜひ、次はメダルを見せてもらいたいと思います。応援していきたいです。



ケガなどもあり、出
場が決まりました。結果に満足してはいかないと言っていました。次のイタリアミラノで行われるオリンピックを目指してがんばりたいとおっしゃっていました。ぜひ、次はメダルを見せてもらいたいと思います。応援していきたいです。

在校生もがんばっていますよ！

毎回、卒業生の活躍のお知らせをしていますが、もちろん、在校生のみなさんもそれぞれ活躍の場を、生徒会、委員会、または勉強会などでがんばってくださいます。その中で、大きな活躍をしている人を紹介したいと思います。2年生の留目大志君は、夏休みに町田駅近くのパティナオで個展を開きました。小学校時代から習っている先生から勧められてやってみようというので、私も見に行きました。小学時代の練習が飾られていて、びっくりしました。中学生とは思えない出来映えで素晴らしい一言でした。ぜひ、今後も続けてもらいたいと思います。

同じく2年生の佐々木奏音さんは、夏休み終わりまで劇団四季を上演されている「アナと雪の女王」の中に登場する「エルサ」の幼少期、「ヤングエルサ」役で舞台上に立って行きました。私も見に行きましたが、大きな舞台、素晴らしいセットの中で生き生きと動き、美しい声で歌う佐々木さんの姿に感動してしまいました。皆さんの中にも見られた人がいるのではないのでしょうか。ぜひ、今後も続けてもらい活躍することを祈っています。

先生たちも、皆さんの持つ、どんな夢も応援していきたいと思っています。